

平成 25 年度 事業報告



岡山理科大学附属中学校

中高一貫校の優れた教育内容を提供し、学んでいる子どもたちの学力をさらに伸ばし、難関大学入試を突破するだけでなく、社会に出て各分野で活躍できる人材を育成します。



従来の暗記や単純な演習中心から『自ら主体的に学ぶ力を身に付けると共に、学ぶ喜びを共感できる』生徒の育成を目標にし、受験

勉強にとらわれることなく、本当の学び方、学問の面白さ、学ぶ楽しさをも伝えていきました。また、本校の特色のひとつである中・大連携により、自然教室・天体観測・環境問題などの学習活動を行うことによって知識や技能の深化を図り、国際交流やボランティア活動を通じて幅広い人間性を構築し、論語をとり入れた道徳教育により正しい判断と実践ができる全人的な人材を育てていきました。

加えて本年度から下記の「立志三要」を定め、その実現のために「生活実践三則」の指導を教職員一丸となって取り組んでいきました。

立志三要

- 1、慎独・去私心
- 1、振気・勉学
- 1、忠恕・爽凜

生活実践 三則

- 1、場を清める
- 1、時を守る
- 1、礼と正す

岡山理科大学附属中学校

校長 位田 隆久

教学の充実

■クラス別教育目標

- ・スーパー選抜クラスの全国中学校偏差値60を維持し、岡山県での合格難関校を維持しました。また自ら進んで学習する「自立学習」を身につけさせることで、難関大学に合格できる学力を養いました。
- ・選抜クラスは、基礎学力の充実をはかり、学ぶことの大切さを身につけさせ、大学進学に対応させました。

■授業計画書の作成

主要5教科は授業計画書を作成し、授業内容及び授業進度を生徒・保護者が理解し、円滑な学習活動を助けました。

■チューターによる自習教室

通年で週3日開設し、生徒の自学自習能力を向上させました。

■イメージョン教育

イメージョン教育（英会話、芸術科目）を実施し国際性豊かな人材の育成を図りました。英会話は1～3年生の全クラス、イメージョン美術はスーパー選抜クラス1・2年を対象に実施しました。

■ 実用英語技能検定・漢字能力検定を全生徒に実施

- ・1年在籍生徒の9割以上が5級以上の取得を目指しました。
- ・2年在籍生徒の6割以上が4級以上の取得を目指しました。
- ・3年在籍生徒の3割以上が3級以上の取得を目指しました。

■ TOEIC Bridge を1・2年生の生徒に実施

- ・2年終了時には180満点中120点をスコアとすることを目指しました。
- ・150点を超える生徒にはTOEIC受験を積極的に促しました。

■ 教員研修会

『授業改善』を目的に教員研修会を1～2回実施しました。

生徒指導

■ 社会性規範育成への取組

校則のない学校としてスタートしました。しかし、社会的なモラルは学校生活においても必要です。学校独自としての規則はほとんどなく、その場の状況に適した言動が取れるよう、常日頃から子どもたちを指導し、また子どもたちとの話し合いも大切にしました。

■ 服装指導の実施

服装モットー「凜とした爽やかさ」規定のものに限らず全てにおいてTPOに合わせ、清々しさを持った着こなしを目指し学校生活の中で教職員が呼びかけていきました。

■ 将来につながるリーダーの育成

体育祭、学習発表会、球技大会、オープンスクールなど様々な学校行事のほとんどを実行委員が主体性を持って運営していきました。その中で企画力、実践力を学び総合的に人間力を高めるようにしていきました。また、今年度より学習発表会を「爽凜祭」

と名称変更し実行委員の企画運営でより充実したものになりました。

■ 挨拶の励行

気持ちを込めて挨拶ができるように、また、正しい言葉遣いができるようにしていきました。

■ 情報教育

インターネット等によるトラブルに巻き込まれないための情報教育を行いました。

■ 家庭、地域社会との協力・連携強化

スクールバスの乗車指導・通学指導などの登下校指導の実施、生活ノートの確認など生徒の学校生活や地域および家庭での生活などをサポートしていきました。

■ 教育相談室・保健室との連携

思春期である中学生期を心身ともに健康で過ごすために綿密に連絡を取り、連携を強化しました。また、不登校の生徒との連絡も密に行っていました。

教務関係

■ 授業・学習関係

- ・1単位当たり年間35時間の授業時間を確保する、授業変更、代替授業(冬季補習等)で授業時間を確保しました。
- ・国語、数学、英語で習熟度別授業を徹底しました。ただし、スーパー選抜クラスはクラス単位の授業としました。
- ・自習教室や指名者補習を利用し、クラスの種別に関係なく、授業で理解できなかった部分の補いができる機会を創設する。部活動より補習等の学習活動を優先させました。
- ・休業期間中の補習は進路指導課と連携し、夏期に8日、冬期に3日、春期に4日実施しました。実施科目は国語、社会、数学、理科、英語としました。部活動より指名補習を優先させました。

平日にも復習を主とする補習を実施しました。

■カリキュラム・シラバス関係

- ・授業(数)中心のカリキュラムから学習内容の理解度に応じた指導が可能なカリキュラムを作成しました。平成26年度以降、週当たり36時間の授業を、数時間減らし、補習や自習教室で学習の遅れを取り戻す機会の創設を検討しました。国語、数学、英語の授業計画書(シラバス)に数値化できる到達目標を設定しました。これにより授業を中心とした学習活動の方向性の共有が授業者と生徒の間でより強くなることをねらい検討中です。

■考査関係

- ・定期考査の成績処理終了後、成績会議を開き、各学年の学習進捗状況の把握、授業計画書の見直しを行いました。
- ・成績不振と判定する基準点を設け、基準点に達していない生徒への指導を行いました。指導期間中の部活動は禁止としました。

■情報発信

- ・学年通信を発行し、生徒の現況を家庭に伝え教育活動への協力を求める。文書とウェブの両方を活用しました。

生徒募集

■塾との関係の強化

- ・出来るだけ多くの塾との関係を深めるために年間3回の一斉訪問を実施するとともに、拠点となる大手塾については、年間数回の訪問を実施した。
- ・塾との関係を深めるために情報の共有を行った。
- ・入試関係の情報を提供するために年間2回(入試説明会・入試結果説明会)を実施した。

■小学校への情報提供

- ・中学受験が必要な私立小学校との連携強化を行

った。

- ・重点中学校を決め、出来るだけ多くの情報を書面で連絡した。

■全体への広報

- ・ホームページによる情報提供の迅速化。
- ・オープンスクール・理科実験教室
7月27日(土)、8月24日(土)
8月31日(土)、9月21日(土)
- ・入試説明会の実施
10月19日(土)、11月8日(金)
- ・適性検査対策講座(10月19日(土))の実施により本校への理解を深めた。
- ・本校生徒の様子を的確に伝える広報リーフレット(ビバ理中)を年間3回発行した。
- ・重点地区の地区別説明会実施を行った。

主な行事

4月9日	入学式
4月18日	健康診断
4月20日	授業参観
5月26日	PTA総会
6月13日	音楽鑑賞教室
9月5日	体育祭(岡山ドーム)
11月2日	爽凜祭(学習発表会)
1月21日	百人一首大会
2月2日~4日	校外活動
3月19日	義務教育修了式
3月20日	修了式
3月20日~28日	海外研修

学生・教職員数

■在籍生徒数

(平成25年5月1日現在)

学校名	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
岡山理科大学附属中学校	80	65	240	175

(単位：人)

■教職員数

(平成25年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員 計	事務職員
1	1	17	19	2

(単位：人)

財務関係

■消費収支

(単位：千円)

年度 科目	25年度 決算額	前年度 決算額
学納金収入	95,149	84,394
補助金収入	61,601	61,165
その他収入	4,054	32,019
帰属収入合計	160,804	177,578
基本金組入額合計	△ 224	△ 812
消費収入の部合計	160,580	176,766
人件費	156,714	206,906
教育研究経費	34,857	37,148
管理経費	14,734	14,262
その他支出	0	0
消費支出の部合計	206,305	258,315

■施設設備整備

(単位：千円)

事業名	金額
省エネ対策 (校舎ガラスのコーティング)	1,890
教室生徒用机・イス20台	328